

# Patent attorney

## 私の目指す弁理士像

• No. 90

会 員

八木沢 史 彦 •

気が付けば、弁理士試験に合格してから2年が過ぎ、特許事務所で勤務を始めてから1年半が過ぎました。

お客様、事務所の皆様、事務所外の皆様や、昔からの友人達といった、周りの方達のサポートのおかげで、かろうじて仕事を継続でき、なんとなく仕事のフィーリングがつかめてきた今日この頃です。この場を借りて、皆様に感謝したいと思います。

ところで、「私の目指す弁理士像」の執筆を依頼されたとき、何を隠そう、ピンときませんでした。実際、目指す弁理士像というものを、考えたことはないのです。それにも関わらず、執筆依頼を受けたのは、今思えば、断りにくい雰囲気だったからなのでしょう。

ただ、日々心がけていることに、目指す弁理士像を含むのかもしれませんが。

日常生活を送るがごとく、目の前の仕事の一つ一つを当たり前になす、ということを心がけております。食べる、飲む、寝る、水道料金を支払う等の日常生活の一つ一つを忘れてたり、失敗するということはございませんが、仕事のミスは、むしろ日常茶飯事といってよいのでございます。日常生活のミスよりも、仕事のミス

の方が多いというのは、我ながら、奇妙な感じがするものです。

ですから、特許明細書の作成に限らず、日常生活を送るがごとく、余裕を持って当然のごとくこなせるようになることが、第一歩かと考えております。

そのうえで、弁理士資格を保持する人が増加し、実力が評価される時代に向って、やる価値がある新たな仕事に対して、特別なことではなくて当然のこととして、平然と立ち向かうということでございます。

「私の目指す弁理士像」の執筆依頼への回答としては、まあ、こんなところでしょうか。